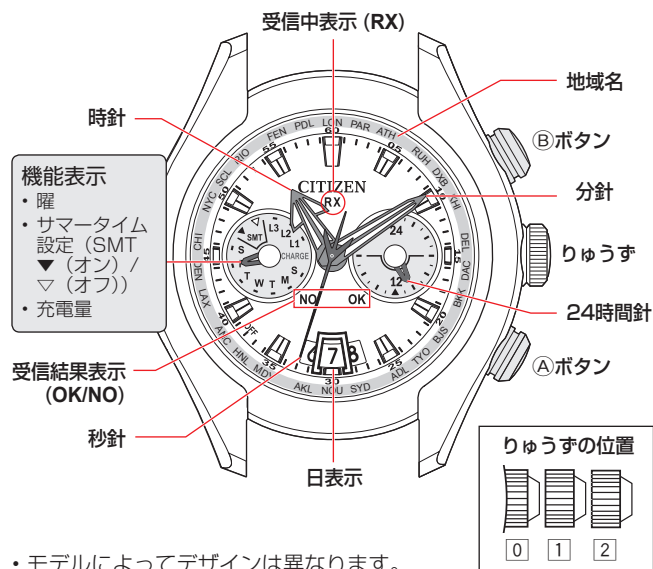


H909 簡易操作ガイド

- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  H909 取扱説明書

各部の名称



• モデルによってデザインは異なります。

充電量を確認する

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. A ボタンを押す

機能表示が充電量を示します。

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	約 2 年～1 年	約 1 年～16 日	約 16 日～10 日	10 日以下
表示の意味	十分に充電されている	安心して使える	そろそろなくなる	ほとんどない
			すぐに充電してください。	

3. A ボタンを押して、終了する

- ボタンを押さなくても、約 10 秒間経過すると自動で戻ります。

ワールドタイムを使う

ワールドタイムを確認する

1. りゅうずの位置を 0 にする

2. B ボタンを押す

秒針が現在設定されている地域名を指します。

3. B ボタンを押して、確認を終了する

- ボタンを押さなくても、10 秒間経過すると自動で戻ります。

ワールドタイムを設定する

世界 26 地域の時刻を自由に選んで表示させることができます。

1. りゅうずの位置を 1 にする

秒針が現在設定されている地域名を指し、機能表示がサマータイム設定を示します。

2. りゅうずを回して、地域を選ぶ

3. りゅうずの位置を 0 にして、設定を終了する

時差と地域について

- 一覧表の時差は、UTC (協定世界時) からの時差です。
- 時差は、国や地域の事情により変更される場合があります。
- サマータイム期間中に、サマータイム実施地域の時刻を設定するときは、ワールドタイムの設定をその地域の時差に設定し、サマータイム設定をご利用ください。

時差	秒針の位置	地域名	代表地域
0	0 秒	LON	ロンドン
+1	2 秒	PAR	パリ
+2	4 秒	ATH	アテネ
+3	7 秒	RUH	リヤド
+4	9 秒	DXB	ドバイ
+5	11 秒	KHI	カラチ
+5.5	14 秒	DEL	デリー
+6	16 秒	DAC	ダッカ
+7	18 秒	BKK	バンコク
+8	21 秒	BJS (HKG)	北京 / 香港
+9	23 秒	TYO	東京
+9.5	25 秒	ADL	アデレード
+10	28 秒	SYD	シドニー
+11	30 秒	NOU	ヌーメア
+12	32 秒	AKL	オークランド
-11	35 秒	MDY	ミッドウェイ諸島
-10	37 秒	HNL	ホノルル
-9	39 秒	ANC	アンカレジ
-8	42 秒	LAX	ロサンゼルス
-7	44 秒	DEN	デンバー
-6	46 秒	CHI	シカゴ
-5	49 秒	NYC	ニューヨーク
-4	51 秒	SCL	サンティアゴ
-3	53 秒	RIO	リオデジャネイロ
-2	56 秒	FEN	フェルナンド・デ・ノローニャ諸島
-1	58 秒	PDL	アゾレス諸島

サマータイムと標準時刻を切り替える

サマータイム設定を確認する

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. [B] ボタンを押す

機能表示がサマータイム設定を示します。

サマータイム設定	機能表示	表示内容
オン (▼)		サマータイムが表示されます。
オフ (▽)		標準時刻が表示されます。

3. [B] ボタンを押して、確認を終了する

・ボタンを押さなくても、10 秒間経過すると自動で戻ります。

サマータイム設定を変更する

1. りゅうずの位置を [1] にする

機能表示がサマータイム設定を示します。

2. [A] ボタンを押す

・[A] ボタンを押すごとに、サマータイム設定のオン / オフが切り替わります。

3. りゅうずの位置を [0] にして、設定を終了する

衛星電波の受信結果を確認する

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. [A] ボタンを押す

秒針の尾部が、前回の受信結果を指します。

OK	受信に成功しました。
NO	受信に失敗しました。

・電波受信を OFF に設定しているときは、秒針の先端部が「OFF」を指します。

3. [A] ボタンを押して、確認を終了する

・ボタンを押さなくても、10 秒間経過すると自動で戻ります。

衛星電波を受信する

・電波受信を OFF に設定しているときは、電波受信はしません（秒針の先端部が「OFF」を指します）。

・受信を中断したいときは、秒針が秒表示に戻るまで、[A] ボタンを押し続けます。

手動受信 1

・受信には、4 ～ 20 秒かかります。

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. 秒針の尾部が「RX」を指す（2 秒間程度）まで、[A] ボタンを押し続ける

・受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

手動受信 2

・うるう秒が更新されたときや、時計をオールリセットしたあとに行います。

・受信には、21 秒～ 13 分かかります。

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. [A] ボタンを 7 秒間押し続ける

秒針の尾部が一度「RX」を指してから、一回転し再び「RX」を指したら、ボタンを離します。

受信が始まります。

・受信が終わると、秒針が受信結果を指し、秒表示に戻ります。

衛星電波の自動受信を止める（受信 OFF）

航空機内など電波の使用が禁止された区域で、衛星電波の自動受信を行わないようにすることができます。

・この時計には、一定の条件下で、衛星電波の受信を自動で行う機能（環境受信）があります。

1. りゅうずの位置を [1] にする

2. [B] ボタンを 2 秒間以上押す

秒針が現在の電波受信の設定を表示します。

電波受信の設定	オン (30 秒位置)	オフ「OFF」
秒針の位置		
内容	環境受信を行います。	環境受信を行いません。

3. [A] ボタンを押す

・[A] ボタンを押すごとに、電波受信の設定が切り替わります。

4. りゅうずの位置を [0] にして、設定を終了する

うるう秒の設定を確認・修正する

・うるう秒の設定の修正は、手動受信 2 で行うこともできます。

最新のうるう秒情報は、下記の情報通信研究機構・日本標準時グループのサイトでご覧いただけます。

<http://jy.nict.go.jp/QandA/data/leapsec.html>

1. りゅうずの位置を [2] にする

2. [B] ボタンを押す

秒針と分針が「0 分 0 秒」を起点とした経過秒数で、うるう秒の設定を表示します。

うるう秒の設定が「- 36 秒」のとき	うるう秒の設定が「- 65 秒」のとき
「0 分 36 秒」を指します。	「1 分 5 秒」を指します。

3. うるう秒の設定が正しくないときは、りゅうずを回して設定を修正する

・修正できる範囲は、0 秒から - 90 秒です。

4. りゅうずの位置を [0] にして、終了する

秒針が、秒表示に戻ります。

時刻・カレンダーを手動で合わせる

・あらかじめ、「ワールドタイムを設定する」でワールドタイムの設定を行ってください。

1. りゅうずの位置を [2] にする

秒針が 30 秒を指して、停止します。

2. ① ボタンを押す

秒針が 0 秒を指して、時刻 / カレンダー合わせができるようになります。

3. ① ボタンをくり返し押して、合わせる針 / 表示を選ぶ

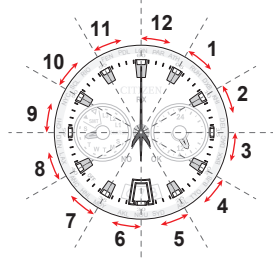
- ・ ① ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。
分 → 時 / 24 時間 → 日 → 年 / 月 → 曜 → (始めに戻る)
- ・ 針 / 表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。

4. りゅうずを回して、針 / 表示を合わせる

- ・ 時・24 時間と日表示は連動します。
- ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- ・ 年と月は、秒針で表示されます。

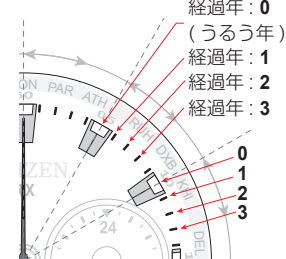
月の表示

「月」は、左図の 12 の矢印の範囲で表示されます。各数字が月に対応します。



年の表示

「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りの位置で表示されます。



- ・ うるう年からの経過年については、サポートページに詳しい解説があります。

5. 手順 3 と 4 をくり返す

6. 時報に合わせて、りゅうずの位置を [0] にする

秒針が 0 秒から動き出します。

基準位置を確認する

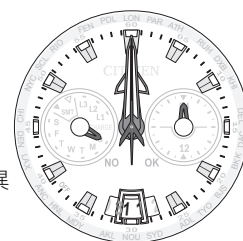
1. りゅうずの位置を [0] にする

2. ② ボタンを 7 秒間以上押し続ける

- 各針 / 表示が現在の基準位置に移動し始めます。
- ・ 針 / 表示が動き出したらボタンを離します。

3. 基準位置を確認する

時針 / 分針 / 秒針 : 0 時 00 分 0 秒
24 時間針 : 24 時
曜 (機能表示) : 「S」 (日曜日)
日表示 : 「31」と「1」の間



現在の基準位置が正しい基準位置と異なるときは、「基準位置を修正する」に従って、基準位置を修正します。

4. ② ボタンを押して、終了する

基準位置を修正する

1. りゅうずの位置を [0] にする

2. ② ボタンを 7 秒間以上押し続ける

- 各針 / 表示が現在の基準位置に移動し始めます。
- ・ 針 / 表示が動き出したらボタンを離します。

3. すべての針の動きが止まったら、りゅうずの位置を [2] にする

曜 (機能表示) / 日表示の基準位置の修正ができるようになります。

4. ① ボタンをくり返し押して、修正する針 / 表示を選ぶ

- ・ ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります。
曜 (機能表示) / 日表示 → 時針 / 24 時間針 → 秒針 / 分針 → (始めに戻る)
- ・ 針 / 表示が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。

5. りゅうずを回して、針 / 表示を修正する

- ・ りゅうずを素早く連続回転させると、針 / 表示が連続で動きます。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- ・ 曜 (機能表示) は 5 回転すると日表示が 1 日切り替わります。

6. 手順 4 と 5 をくり返す

7. りゅうずの位置を [0] にする

8. ② ボタンを押して、終了する

- ・ ボタンを押さなくても、りゅうずの位置を [0] にしてから約 2 分間経過すると、自動で時刻表示に戻ります。

オールリセットを行う

1. りゅうずの位置を [2] にする

2. ①、② ボタンを同時に 3 秒間以上押して、離す

秒針が 0 秒の位置まで動き、その他の針と日がわずかに動いてオールリセットされます。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の 1 月 (5 秒の位置)
ワールドタイム	時差 0 (LON)、ロンドン
サマータイム	全ての地域で、オフ
うるう秒	
ロールオーバー数	オールリセットしても変更されません。

オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、基準位置の修正、ワールドタイムの設定、時刻 / カレンダー合わせ、を行ってください。